



水産生物放射能分析技術研修会を開催



水産工学研究所によるがれき調査



マガキ浮遊幼生の採集

組織図

水産業復興・再生のための調査研究開発推進本部

水産総合研究センター復興本部

本部長 理事長
副本部長 研究開発推進担当理事

- ・全理事
- ・本部全部長
- ・開発調査センター所長
- ・東北区水産研究所長
- ・北海道区水産研究所長
- ・中央水産研究所長
- ・水産工学研究所長

- 復興・再生支援に必要な研究開発の企画・立案・調整・指示
- 放射能関係の対応・調整
- 関係研究開発の推進に必要なセンターの資源配分の調整
- 水産庁など外部機関との連絡調整、他

事務局

事務局長：研究推進部長
事務局長代理：担当研究主幹
担当研究開発コーディネーター

広報室

・広報室長
●マスコミ、一般の窓口

【復興本部連絡先】

独立行政法人水産総合研究センター
▶事務局：045-227-2646
▶広報室：045-227-2621

現地推進本部

本部長 東北区水産研究所長
副本部長 北海道区水産研究所業務支援課長
本部長 東北区水産研究所
業務推進部長、資源生産部長、
資源海洋部長、業務推進課長、
業務管理課長
若鷹丸船長

現地対策チーム

- ◆情報収集・管理チーム
- ◆漁場環境・保全チーム
- ◆増養殖・沿岸漁業チーム
- ◆沖合資源・漁況チーム
- ◆宮古復興チーム
- ◆さけますふ化放流チーム
- ◆食品加工チーム
- ◆漁村・流通チーム
- ◆漁港・施設整備チーム など
- 現地における情報収集、研究・技術開発支援、対策・取り組みの提言、他

【現地推進本部連絡先】

▶東北区水産研究所 業務推進部：022-365-1191
▶北海道区水産研究所 業務支援課：011-822-2161

指示・連絡

情報・報告

東北地方の水産業復興・再生のための調査研究開発推進本部を設置

水産総合研究センターは、東日本大震災によって大きな被害を受けた東北地方の水産業の復興を支援する目的で「水産業復興・再生のための調査研究開発推進本部（略称：水研センター復興本部）」、ならびに「現地推進本部」を設置し（左ページ「組織図」参照）、活動を開始しました。

当センター復興本部では、水産庁の水産業復興プロジェクト支援チームと連携をとり、（１）水産庁の復興計画への技術的な見地からの助言、（２）そのために必要な調査・研究の実施、（３）失われた関係県の研究開発機能回復への支援などを実施します。

そのため、復興・再生支援に必要な調査研究開発の企画・調整、東京電力

福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能分析に関する対応・支援、水産庁など外部機関との連絡調整を行います。また、現地推進本部では復興本部の指示のもと、水産庁が立ち上げた現地対策統括本部と協力しながら、現地での各種支援活動、情報収集などを実施します。



サケふ化場の井戸の調査
(岩手県野田村の下安家ふ化場)

活動内容

- 1 資源・漁場環境調査と情報提供
- 2 沿岸漁業・養殖業被害調査と復興策の検討、復興支援
- 3 水産加工業被害調査と復興策の検討・提言、復興支援
- 4 水産流通被害調査と復興策の検討・提言、復興支援
- 5 漁港・漁村・漁場施設被害調査と復興策の検討・提言、復興支援
- 6 漁船再建策の検討・提言と再建支援
- 7 水産業を軸とした被災地域の復興・再生プランのイメージとその際の水産業のあるべき姿のイメージの検討・提言
- 8 放射能分析に関する対応、支援